

第3日・12/8(金)

開始時刻 A室(レインボーホール)

B室(舞鶴の間 BC)

C室(舞鶴の間 A)

9:00 基調講演(2) 司会:千田 二郎(同志社大学)
「内燃機関進化によるCO2低減への貢献」
山本 博之(マツダ)

10:00 休憩

講演No.	CI機関(6) 座長:三上 真人(山口大学)	講演No.	着火・燃焼(1) 座長:八房 智顯(広島工業大学)	講演No.	排気後処理(1) 座長:高山 敦好(久留米工業大学)
82	講演取り下げ	94	高流速条件での放電経路の短縮化現象のモデル化(第1報) 佐山 勝楯(豊田中央研究所)	106	アンモニア-SCR反応モデルの構築と炭化水素の触媒阻害影響 小祝 隆太郎(北海道大学)
83	ディーゼル燃焼におけるマルチ噴射時の噴霧干渉とスモーク発生挙動解析 戸田 直樹(SOKEN)	95	高流速条件での放電経路の短縮化現象のモデル化(第2報) 増田 輝(豊田中央研究所)	107	アンモニアスリップ触媒のプラントモデル構築検討 第1報 大堀 鉄平(いすゞ中央研究所)
84	ディーゼル燃焼のサイズ依存性に関する実験的考察 新井 琢也(北海道大学)	96	乱流場における希薄プロパン/空気予混合気の火花点火過程に及ぼす放電特性の影響 小林 泰治(東京大学)	108	Diesel Oxidation Catalyst内部でのHydroCarbon酸化反応に及ぼす活性サイト密度の影響に関する研究 畑 裕登(早稲田大学)
11:30		97	定容燃焼容器を用いた流動場における放電現象の解析 井上 貴裕(三菱電機)	109	複数炭化水素の競争吸着が酸化反応挙動に及ぼす影響の実験的解明 滋野 豪規(早稲田大学)

11:55 休憩

講演No.	予混合圧縮着火(1) 座長:小橋 好充(北海道大学)	講演No.	着火・燃焼(2) 座長:北川 敏明(九州大学)	講演No.	排気後処理(2) 座長:橋本 淳(大分大学)
85	HCCI乱流燃焼の直接数値計算を用いたnヘプタン予混合気の自己着火過程の数値解析 久野 僚介(名古屋大学)	98	ガス組成が燃料の自着火特性とメタン価に与える影響に関する研究 増田 裕(HI)	110	尿素SCR用インジェクタから噴射される尿素水挙動および生成化合物の予測(第3報) 草野 修平(同志社大学)
86	乱流と壁の影響を受けたnヘプタンHCCI燃焼の直接数値シミュレーション 清水 聖有(名古屋大学)	99	燃焼の自由度を高めるための基礎的検討 三好 明(広島大学)	111	UFB水を用いた湿式スクラバによる単気筒エンジンの排ガス低減 生野 公規(久留米工業大学)
87	EGRを用いたHCCI燃焼における反応過程の研究 西山 毅(日本大学)	100	高温高圧雰囲気場における水添加が自着火・燃焼反応におよぼす影響 葛 暲遥(マツダ)		
88	不活性ガス希釈がHCCI燃焼特性に及ぼす影響 高野 竣太郎(日本大学)	101	急速圧縮装置を用いた潤滑油を添加した際の炭化水素の着火遅れ時間計測 和知 裕亮(茨城大学)		

14:40 休憩

講演No.	予混合圧縮着火(2) 座長:田中 光太郎(茨城大学)	講演No.	着火・燃焼(3) 座長:寺地 淳(日産自動車)
89	単一燃料を用いる多段HCCI機関の研究 大友 和臣(千葉工業大学)	102	定容積燃焼器旋回流場でのマルチ点火が初期火花に及ぼす影響の数値解析 長谷川 繁樹(ダイヤモンド電機)
90	多段燃焼を行う予混合圧縮着火機関の研究 和田 潤一(千葉工業大学)	103	多段パルス放電を用いた点火性能向上に向けた研究 竹田 幸太郎(日本大学)
91	超過膨張サイクル機関における膨張比がHCCI燃焼に及ぼす影響 児玉 侑都(群馬大学)	104	LES計算による乱流場での球状火花伝播速度への考察 山口 義博(本田技術研究所)
92	ピストン圧縮による過濃混合気の燃料改質 渡邊 勇介(北海道大学)	105	Numerical Study on the Effects of Turbulence Intensity and Scale on Spherically Propagating Flames Hazim Shehab(Kyushu University)
93	超高压燃料噴射を用いたPCCI燃焼制御法に関する研究 佐藤 進(東京工業大学)		
16:55	閉会式		